



証券コード 9248

人・夢・技術グループ株式会社

2023年9月期 第2四半期決算説明会

2023年6月7日(水)

代表取締役社長 永治泰司

目次

1. ご挨拶
2. 人・夢・技術グループ中期経営計画「持続成長プラン2025」の進捗
3. 2023年9月期第2四半期決算ハイライト・業績予想
4. 2023年9月期上半期事業トピックス



1. **ご挨拶**

2. **人・夢・技術グループ中期経営計画「持続成長プラン2025」の進捗**

3. 2023年9月期第2四半期決算ハイライト・業績予想

4. 2023年9月期上半期事業トピックス

人・夢・技術グループが提供するサービス領域

地盤から空・宇宙まで、時代の変化や社会課題に未来を見据えて取り組み
人々の生活を支える幅広い社会インフラサービスを提供

I 国土基盤整備

社会インフラ計画
調査設計
施工管理・長寿命化

再生可能
エネルギー
関連

文教・医療
福祉
施設建築

防災・減災

II 環境新エネルギー

調査・計画設計
施工・管理・運用
洋上風力発電
海底地盤調査

AI/IoT
情報インフラ

橋梁設計
構造物設計

地盤調査

環境関連

まちづくり

道路・交通
ITS関連

インフラ維持管理
長寿命化

地域創生

III 地域創生

地域、都市開発調査
まちづくり、
都市システム化計画
公共施設運営

鉄道関連

港湾・河川
水工関連

公共事業
PPP/PFI
関連

IV 海外連携・新領域

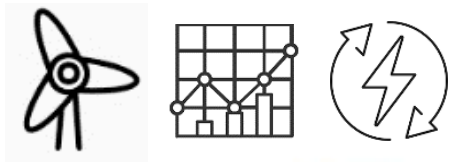
社会インフラの計画
調査・設計・運営
デジタル・量子・
空飛ぶクルマ

人・夢・技術グループのグループ会社と各社の強み

人が夢を持って暮らせる安全で安心な社会の実現に貢献

高い技術力とグループ総合力で幅広いインフラサービスをカバー、新規事業へ挑戦

地盤に強い総合コンサルティング
地盤の調査・試験・解析、設計技術の開発



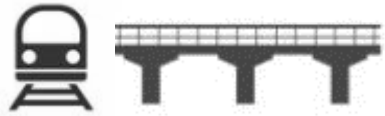
建設コンサルティング
サービスプロバイダ、プロダクツ事業



基礎地盤
コンサルタンツ
株式会社

株式会社
長大

道路構造物・鉄道構造物を
得意とする地域コンサルタント
測量から設計、施工計画、
長寿命化まで一貫した業務遂行



株式会社
ピーシー
レールウェイ
コンサルタント

人・夢・技術グループ

インフラ施設の維持管理、
老朽化対策
構造物の3次元データ整備



株式会社
長大テック

組み込みソフトウェア
AI/IoT活用システムの開発



株式会社
エフェクト

道路交通情報システム
オンデマンド交通システム開発



中期経営計画「持続成長プラン2025」の位置づけ

「長期経営ビジョン 2030」へ向けたステップとなる第2フェーズ
計画期間 2023年9月期～2025年9月期

重要な社会環境の変化

- ・ 少子高齢化・地政学リスクの高まりにより、中長期的に公共事業の縮小の可能性
- ・ 新技術・新領域の進展により、デジタル化の進行と次世代の建設コンサルタント像へのシフトの必要性
- ・ 東証市場再編・情報開示の要請・ESG投資の高まりなど、サステナビリティ経営の重要性の拡大



中期経営計画「持続成長プラン2025」

第3・第4フェーズの確かな成長へ繋げるため、事業領域の確立と拡大と人材戦略の推進
当社グループへの企業の参加やグループ各社相互の連携・補完により、グループ力の強化の推進

「持続成長プラン2025」の基本方針と主要施策

計画期間 2023年9月期～2025年9月期

【基本方針】

国土基盤整備・保全分野のさらなる強化と環境・新エネルギー分野
及び地域創生分野の新たな事業分野としての確立。
事業を支える多様な人材が働きがいを持てる環境づくりを推進。

5つの主要施策

3つの横断的な取組み

⑤ 新たな地域や顧客の開拓と
災害時の対応強化



① 多様な働き方と
採用・育成の強化

② イノベーションによる新事業・
新技術の創出、IT・DX化
による生産性の向上

③ グループのガバナンス強化と
M&A・新事業投資の推進

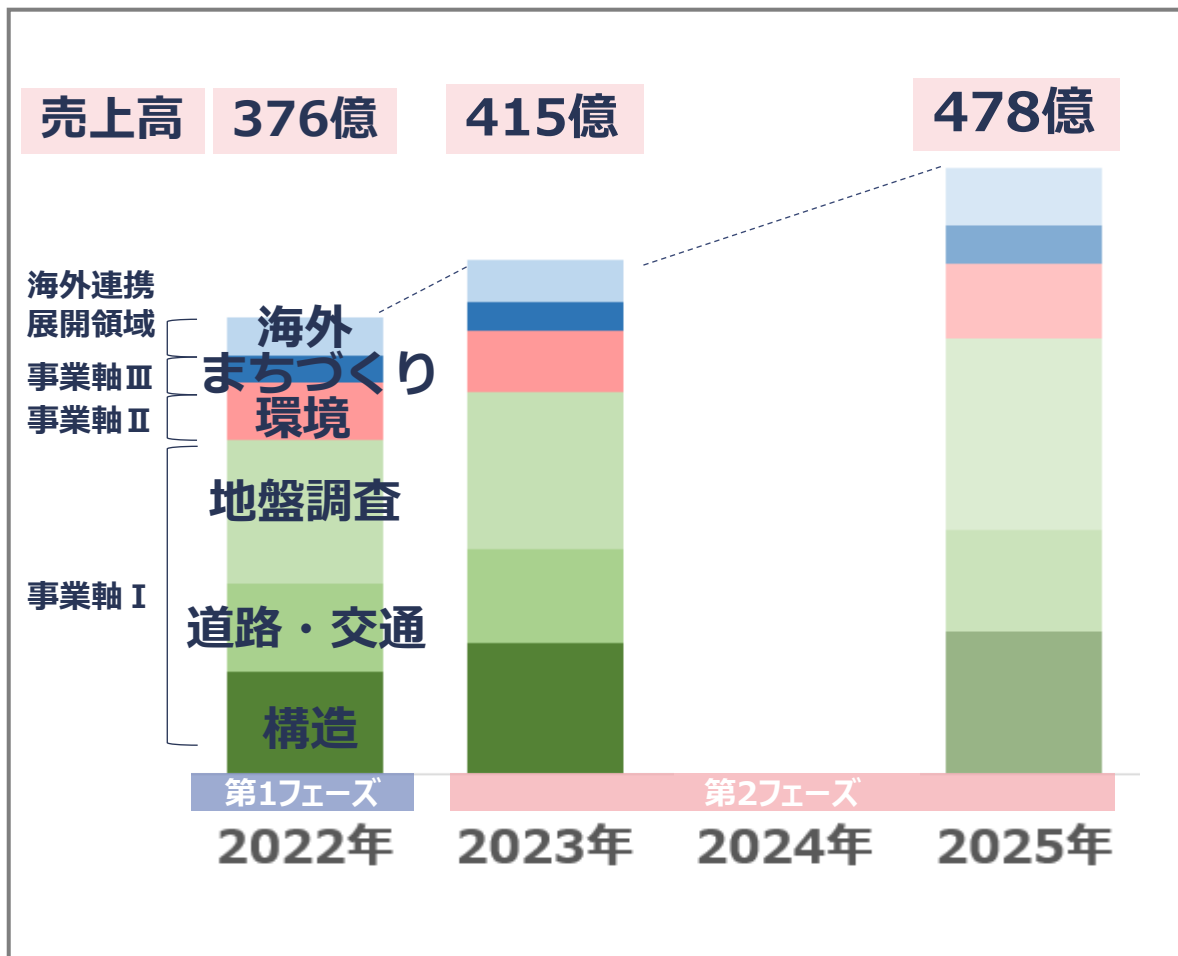
② カーボンニュートラルに
関する事業参画

① 基幹分野の
更なる強化

③ 多様なまちづくり
のサービス提供

2023年上半期の5つの主要施策の取り組み

人・夢・技術グループの基幹を担う国土基盤整備・保全分野の強化と
環境・新エネルギー分野及び地域創生分野の新たな事業分野としての確立にむけて



【構造】

- ・ 特殊橋設計のほか、持続可能なメンテナンスの受注
- ・ BIM/CIMを使用した設計業務の拡大

【道路・交通】

- ・ 長寿命化や改良設計などの計画を推進

【地盤調査】

- ・ 地盤情報サービスの高度化に関する新領域へ展開

【環境・海外】

- ・ タイ国のごみ発電事業の受注など

【まちづくり】

- ・ PPP/PFI分野の新規顧客を順調に拡大

2023年上半期の横断的な取り組み 新たな領域への挑戦「未来の社会の姿を創るスマートシティ事業」

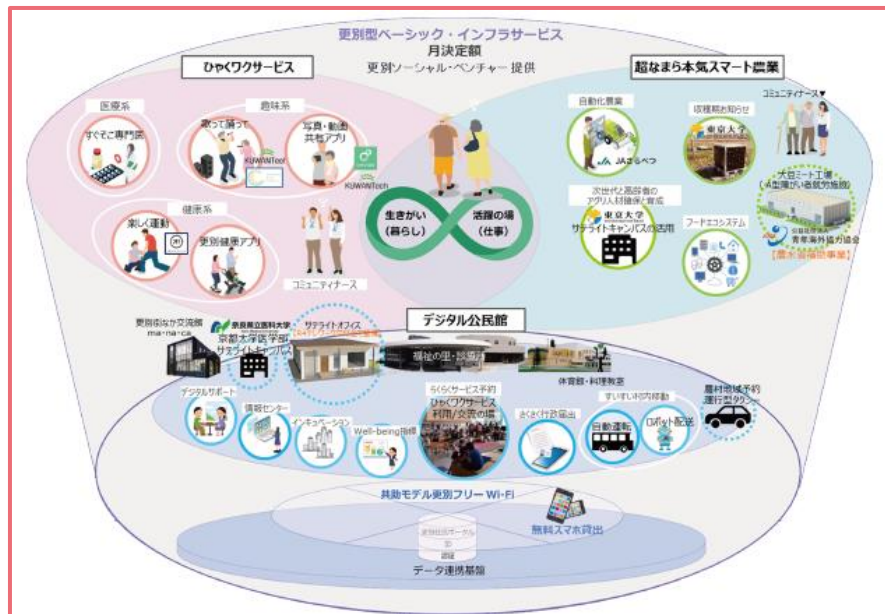
未来の社会の姿を創るスマートシティ事業を通して全国自治体経営の実現へ

■ 『北海道更別村SUPER VILLAGE構想』が 国のデジタル田園都市国家構想に採択

- 交付金を活かし、更別村が進める“更別村『SUPER VILLAGE』構想”を建設コンサルタントの経験を生かして支援
- 2022年度国のデジタル田園都市構想推進交付金のType3に採択
- 2023年度も複数の対象事業に採択

■ 2022年10月24日 更別村 デジタル活用の住民サービス開始

- 13の事業が2022年10月までにスタート
- 新たに設立されたソーシャルベンチャーが月額制でインフラサービスを提供
- 更別村は国から支給された「デジタル田園都市国家構想」の交付金、およそ5億円を活用し、高齢化に伴う課題の解決を目指す
- 2023年3月8日本構想に関する企業等6社が入居するサテライトオフィスが完成



2023年3月8日 更別村サテライトオフィス



2022年10月24日更別村サービス開所式

2023年上半期の横断的な取り組み 新たな領域への挑戦「空飛ぶクルマへの挑戦」

機体開発やルール整備が進む空飛ぶクルマ、2025年大阪万博での航行を目指す

■ 「空飛ぶクルマ離着陸場設備設計」検討に向け覚書締結



- IHI運搬機械株式会社（所在地：東京都中央区 社長：村上晃一）と長大は「空飛ぶクルマ」の離着陸場の設備設計の検討を共同で行うため覚書を締結
- 複数機体の同時運用の設計・検証等、より具体的な検討を開始
- 両社が持つ技術やノウハウを用い、離着陸場や離着陸場周辺インフラの設計・建設・管理等について共同で検討

■ 大阪城公園で日本初、パイロットが搭乗・操縦する空飛ぶクルマの実証飛行を実施



- 長大は、大阪府における「空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進事業補助金」に採択
- 2023年3月14日・15日に、丸紅株式会社の共同事業者として、米国LIFTAIRCRAFT社が開発・製造する一人乗り電動垂直離着陸機（「eVTOL」）“HEXA”を用いた実証飛行を大阪城公園内野球場で開催。パイロットが登場し操縦する日本初の取り組み

2023年上半期の横断的な取り組み 新たな領域への挑戦「宇宙開発における土木分野の活用」

世界各国で進められる宇宙開発における民間企業や土木分野の可能性

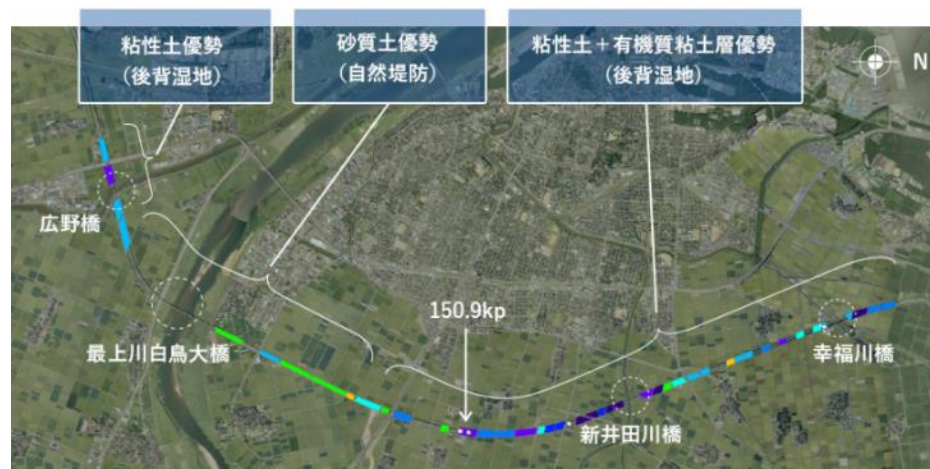
■ 「月面基地」建設のための技術開発に参画



- 2022年6月、国が進める「宇宙無人建設革新技術開発推進事業」の技術研究開発の実施対象に、基礎地盤コンサルタンツが参加するプロジェクトが採択
- このプロジェクトでは、月面測量と地質調査を同時に行い、3次元地質地盤図を作成する無人調査システム開発を手掛ける
- 2023年度は月面地盤を模した材料を用いた土質試験を実施

■ 衛星SARによる地表モニタリング技術

- 基礎地盤コンサルタンツは、衛星SARによる地表モニタリングを実施
- 衛星SARとは、人工衛星を利用した地上観測技術(リモートセンシング技術)の1つ。異なる時期のデータを測定し比較することで、調査地域の経年地盤変化をミリ単位の精度で測定が可能
- 広範囲に分布する土構造物の状態を一括で確認。管理用地外の状況も確認できるため、災害の事前把握にも役立つ



高速道路の路面沈下解析事例



2023年上半期の横断的な取り組み 新たな領域への挑戦「量子技術の活用」

社会インフラの発展のため、量子事業の未来ビジョンの実現を目指して

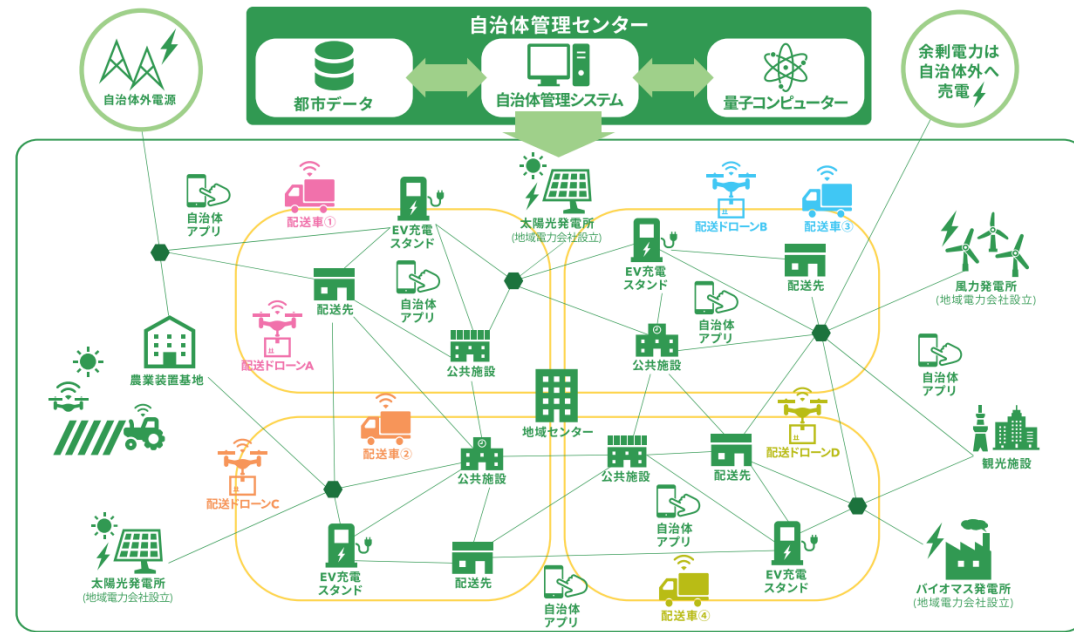
■ 2023年4月28日、blueqat株式会社と業務提携契約を締結

- 2023年4月28日、blueqat株式会社
(代表取締役社長：湊雄一郎、
本社：東京都渋谷区)と業務提携契約を締結
- 「クオantumシティ構想」の実現を目指し、
2022年10月にQ-STARにおいて「クオantumシティ
推進部会」を立ち上げ

■ 長大会長の永治がG7仙台科学技術大臣会合 公式イベント「量子技術が切り拓く未来」に Q-STARの理事として出席



クオantumシティ構想～量子技術で未来の社会を豊かにする～



Q-STAR 参加状況詳細



(一社)量子技術による新産業創出協議会

特別会員(16社)

(株)長大 / キヤノン(株) / 京セラ(株) / 住友商事(株) /
SOMPOホールディングス(株) / (株)東芝 / 凸版印刷(株) /
トヨタ自動車(株) / 日本電気(株) / 日本電信電話(株) /
(株)日立製作所 / (株)フィックスターズ / 富士通(株) /
(株)三井住友フィナンシャルグループ / 三菱ケミカル(株) /
三菱電機(株)

会員数: 70社 (2023年4月時点) ※他にアカデミア2団体



1. ご挨拶

2. 人・夢・技術グループ中期経営計画「持続成長プラン2025」の進捗

3. 2023年9月期第2四半期決算ハイライト・業績予想

4. 2023年9月期上半期事業トピックス

連結損益計算書サマリー

売上、利益ともに通期計画に対して順調に進捗

	2022年9月期 中間実績	2023年9月期 中間実績	対前期 同四半期 増減率	(百万円)	
				通期予想	対前期 増減率
受注高	18,575	15,626	△15.9%	42,000	7.0%
売上高	20,234	21,640	6.9%	41,500	10.4%
営業利益	3,777	2,975	△21.2%	2,400	△29.4%
経常利益	3,893	3,099	△20.4%	2,450	△37.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,591	2,026	△21.8%	1,200	△48.6%

■ 受注高について

- 国土交通省、民間案件の発注の時期ずれにより減少

■ 売上高について

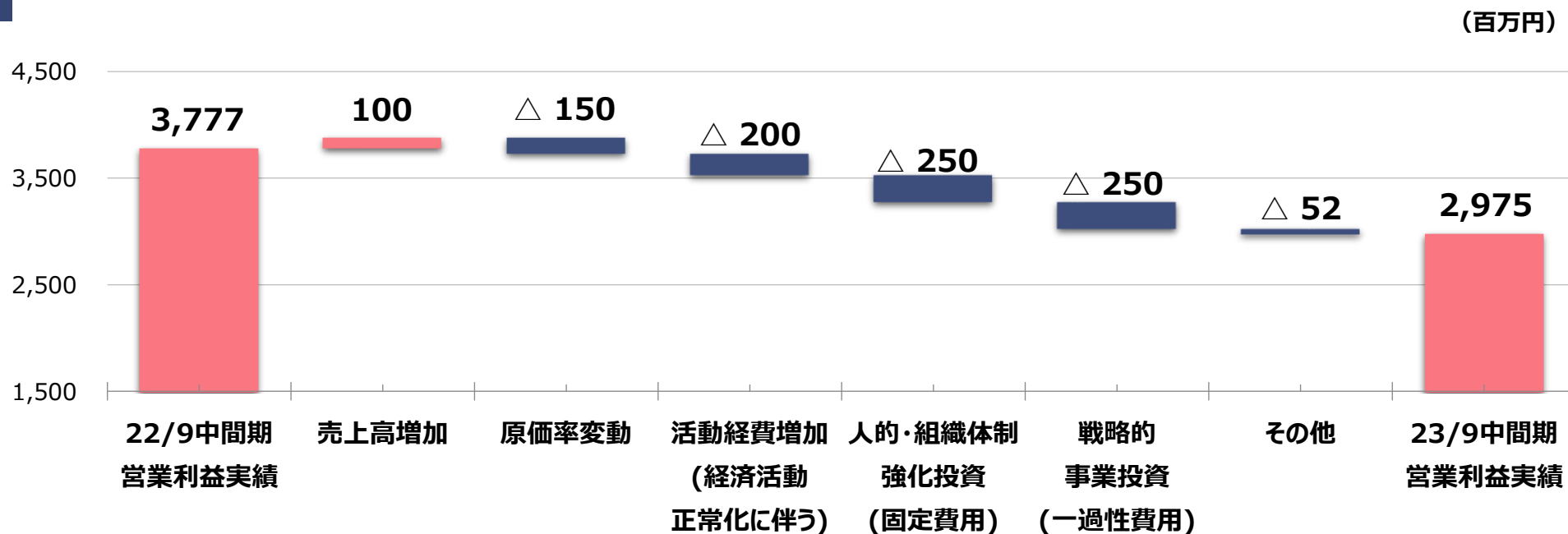
- 株式会社ピーシーレールウェイコンサルタントの新規連結により増加

■ 営業利益、経常利益について

- 技術者の増員、新事業領域拡大に向けての先行投資の実施により減少

営業利益増減要因の分析

営業利益は、戦略的投資の推進により対前年比△21.2%となる



■営業利益増加要因

- ・売上高増加により増加

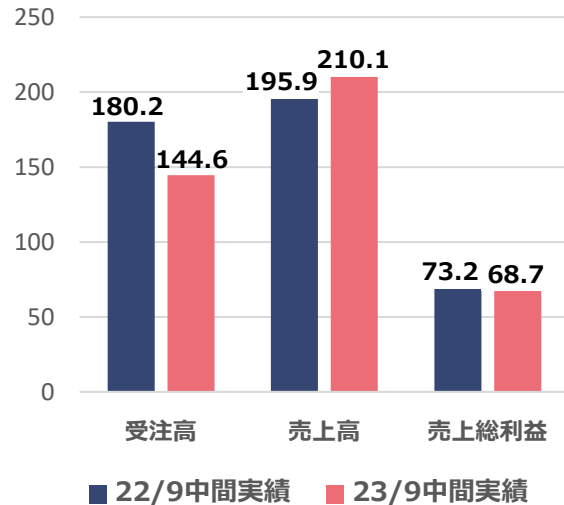
■営業利益減少要因

- ・主に、活動経費増加(経済活動正常化の影響)、グループITインフラ整備、給与水準の引き上げ、新事業領域拡大に向けた先行投資の推進により減少

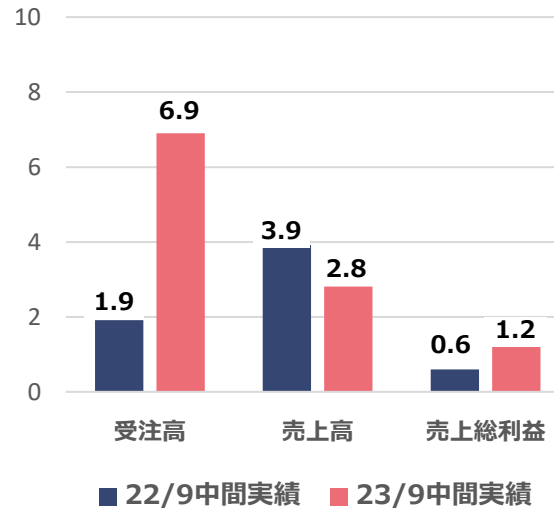
セグメント別の実績

主力のコンサルタント事業は、増収減益となる

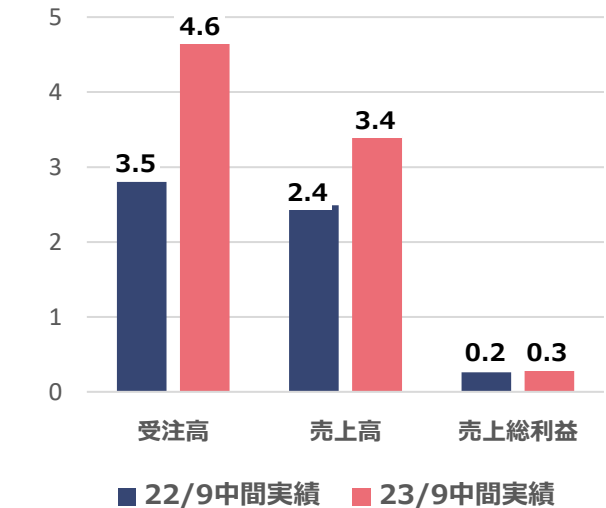
(億円) コンサルタント事業



(億円) サービスプロバイダ事業



(億円) プロダクツ事業



■売上高は堅調に推移

- 受注高は、国土交通省、民間案件の発注の時期ずれにより減少したものの、売上高については増加
- 売上総利益は、積極的な人材採用、給与水準の引き上げにより減少

■受注高は大幅に増加

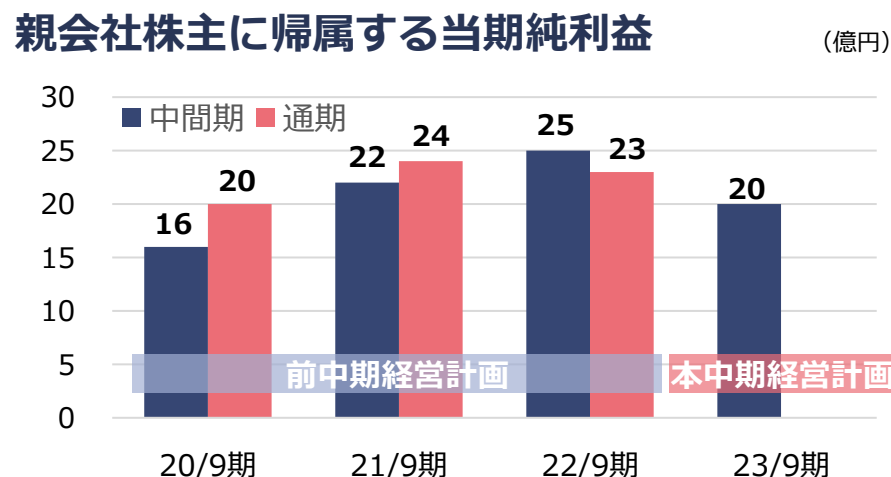
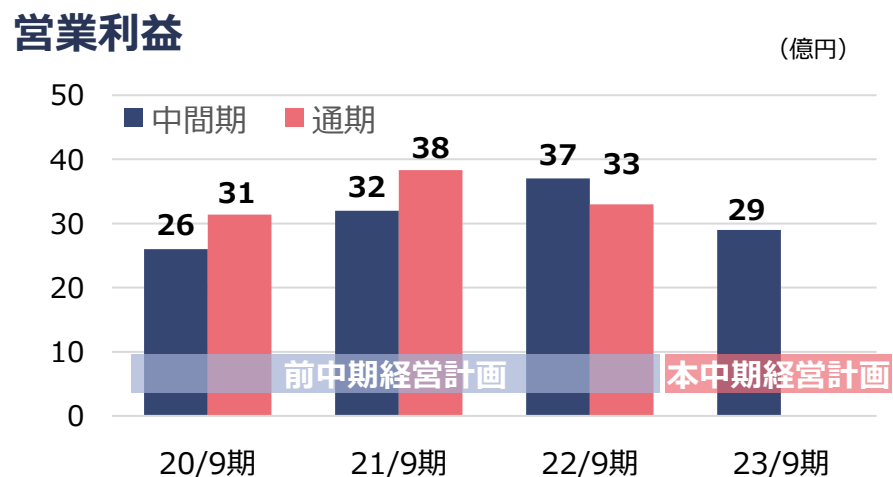
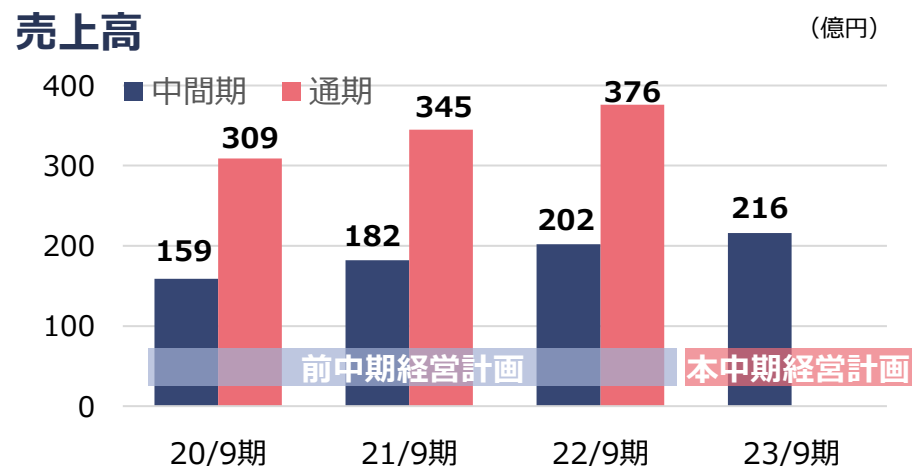
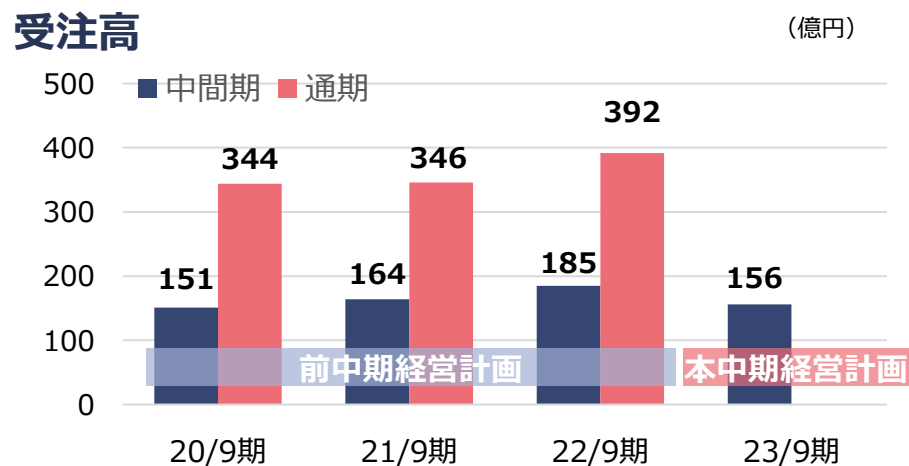
- 受注高は、海外事業における大型案件受注により大きく増加
- 売上高は減少したものの、増益となる

■商品拡充などにより、増収

- コンクリート用夜間反射塗料、バイオグリーンシールドなどのオリジナル商品を拡充

連結業績推移 ～受注高・売上高・利益～

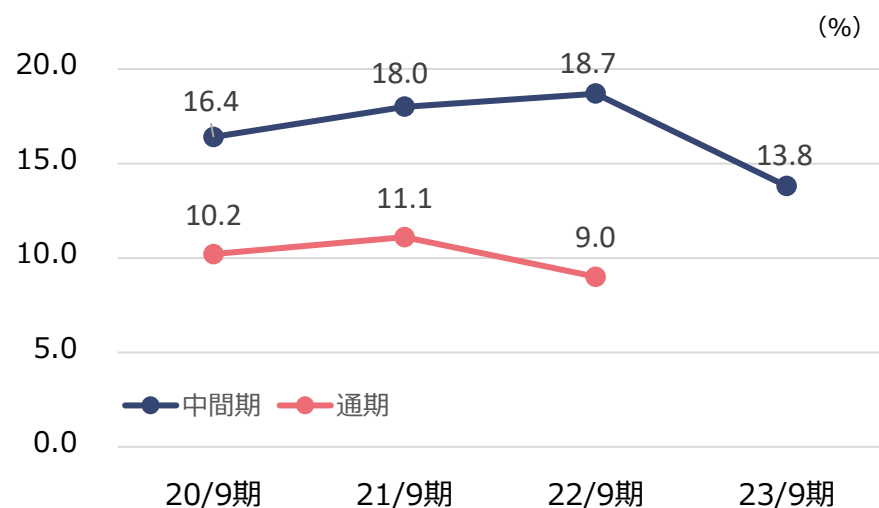
売上高は堅調に増加、営業利益は先行投資により減少



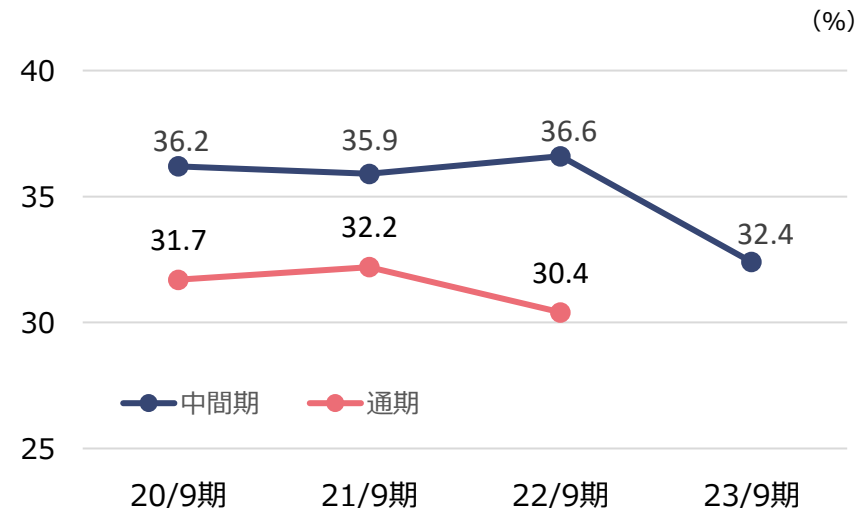
連結業績推移 ～利益率～

売上高は増加している一方、積極的な人材採用、給与水準の引き上げなどにより営業利益率、粗利率ともに減少

営業利益率



粗利率



連結貸借対照表の概要

(百万円)

<主な項目>	2022年9月期 実績	2023年9月期 中間実績	増減額	コメント
資産合計	33,463	43,461	9,998	流動資産
流動資産	23,369	31,500	8,131	<ul style="list-style-type: none"> 現金及び預金の増加、売上増加による売掛金の増加による影響
固定資産	10,093	11,960	1,866	固定資産 <ul style="list-style-type: none"> 土地購入による有形固定資産の増加、M&Aによるのれんの増加による影響
負債合計	13,623	21,839	8,215	流動負債
流動負債	9,659	16,347	6,687	<ul style="list-style-type: none"> 短期借入金の増加、3月の業務完了が集中することによる債権増加による影響
固定負債	3,963	5,491	1,528	固定負債 <ul style="list-style-type: none"> 主に長期借入金の増加による影響
純資産合計	19,839	21,622	1,782	<ul style="list-style-type: none"> 利益剰余金が増加
株主資本	19,609	21,497	1,888	

連結キャッシュ・フロー表の概要

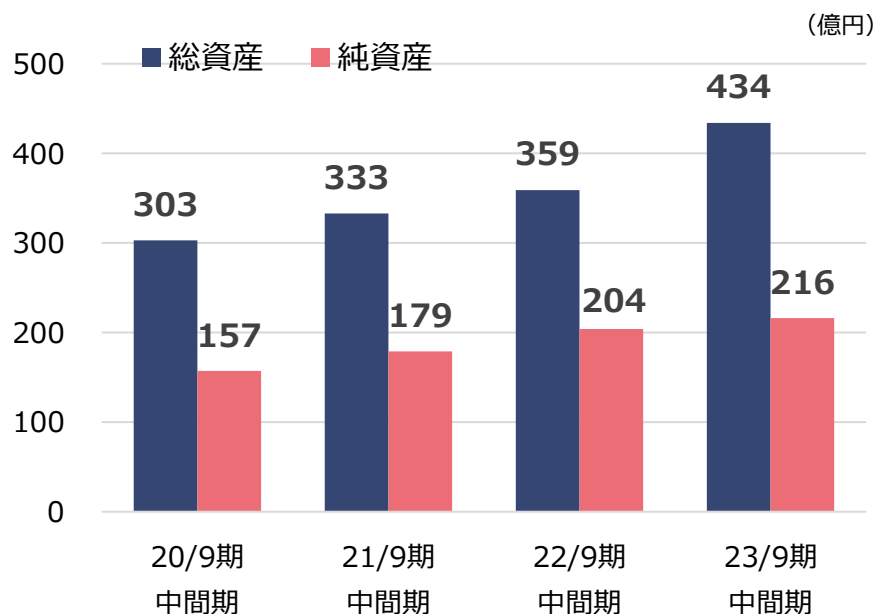
(百万円)

<主な項目>	2022年9月期 中間実績	2023年9月期 中間実績	コメント
営業キャッシュ・フロー	△4,977	△4,563	
税金等調整前当期純利益	3,893	3,099	
売上債権の増減額（△は増加）	△10,087	△6,791	売上債権の増加、未成業務受入金の減少などによる影響
未成業務支出金の増減額（△は増加）	5,282	△98	
未成業務受入金の増減額（△は減少）	△2,118	△895	
未払消費税等の増減額（△は減少）	△378	493	
法人税等の支払額	△935	△704	
投資キャッシュ・フロー	△648	△2,508	
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,602	子会社(ピーシーレールウェイコンサルタント株式会社)株式の取得、有形固定資産の取得による支出等
有形固定資産の取得による支出	△318	△497	
投資有価証券の取得による支出	△9	△116	
貸付けによる支出	△285	△150	
財務キャッシュ・フロー	3,086	8,810	主に、短期/長期借入金の増加による影響
短期借入れによる収入、支出	3,500	7,700	*ピーシーレールウェイコンサルタント株式会社買収資金、売上高増加に伴う運転資金の一時的増加によるもの(第3四半期に一部返済予定)
長期借入れによる収入、支出	449	1,637	
期末現金および現金同等物残高	7,663	9,145	

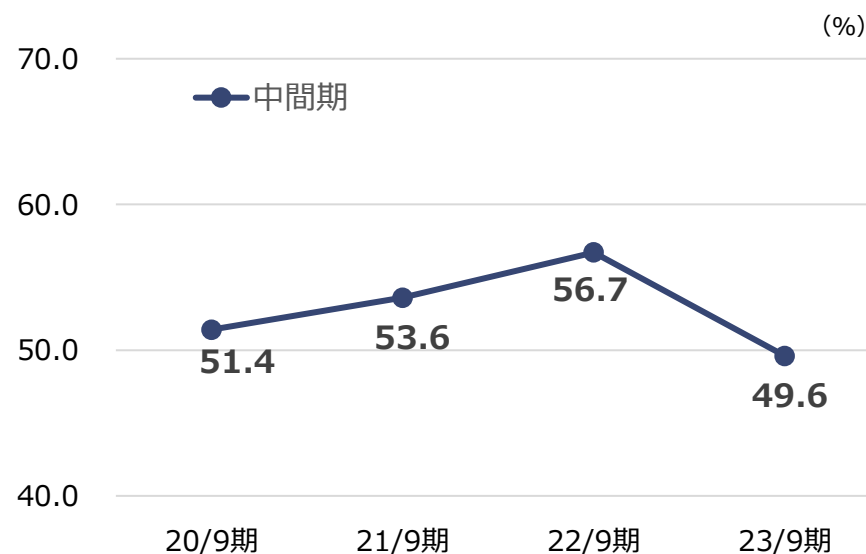
連結財務状況推移 ～自己資本比率～

堅調な売上の増加、利益剰余金の計上により、総資産・純資産は増加

総資産・純資産



自己資本比率



- **総資産、純資産の増加について** 継続した利益剰余金の計上により、順調に増加
- **自己資本比率について** 利益剰余金が増加する一方、売上増加による債権等の増加などにより減少

連結業績予想

第2四半期では、通期業績予想に変更なし

	2022年9月期 通期実績	2023年9月期 通期予想	対前期 増減率	(百万円)	
				2023年9月期 中間実績	対前期 同四半期 増減率
受注高	39,265	42,000	7.0%	15,626	△15.9%
売上高	37,604	41,500	10.4%	21,640	6.9%
営業利益	3,397	2,400	△29.4%	2,975	△21.2%
経常利益	3,891	2,450	△37.0%	3,099	△20.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,333	1,200	△48.6%	2,026	△21.8%

■売上高、営業利益について

- 売上高については、下半期の順調な受注を想定し増収の見込
- 営業利益については、ITインフラ整備を推進し業務の効率化を図る一方、それに伴うイノベーションやIT化推進のための費用、将来の成長を支える人材の確保のための費用、「成長と分配」という政府の要請による給与水準の引き上げ、新事業領域拡大に向けた研究開発投資などの一過性の費用の発生を見込み、通期で減益の見込

株主還元方針について

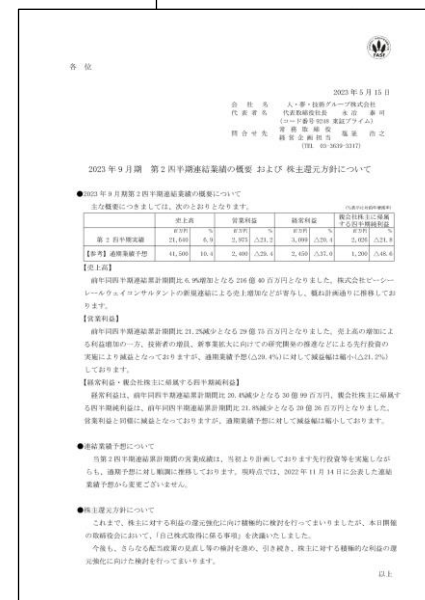
「自己株式取得に係る事項」を決議

20万株、又は3億円のいずれかを上限として、自己株式を取得 (2023年5月15日取締役会決議)

- 2023年5月末現在、23,000株(34百万円)の自己株式を取得済み
- 取得期間：2023年5月16日～2023年9月22日

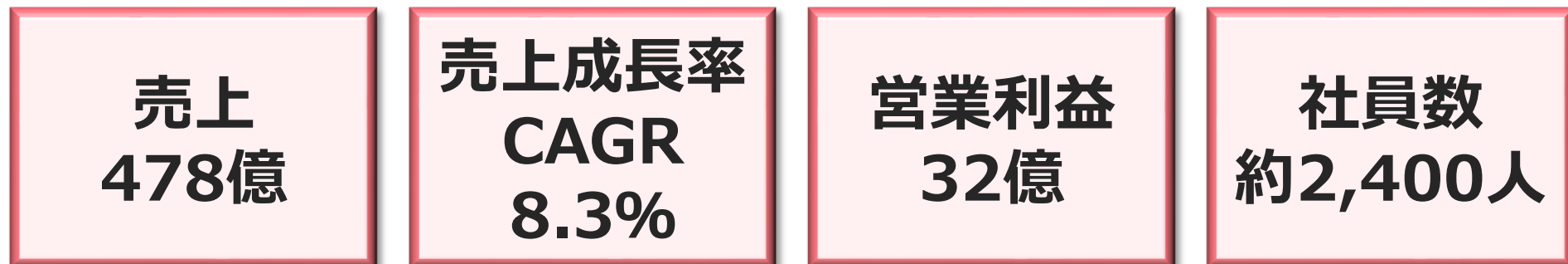
配当政策の見直し等の検討について

株主に対する積極的な利益の還元強化に向け検討中

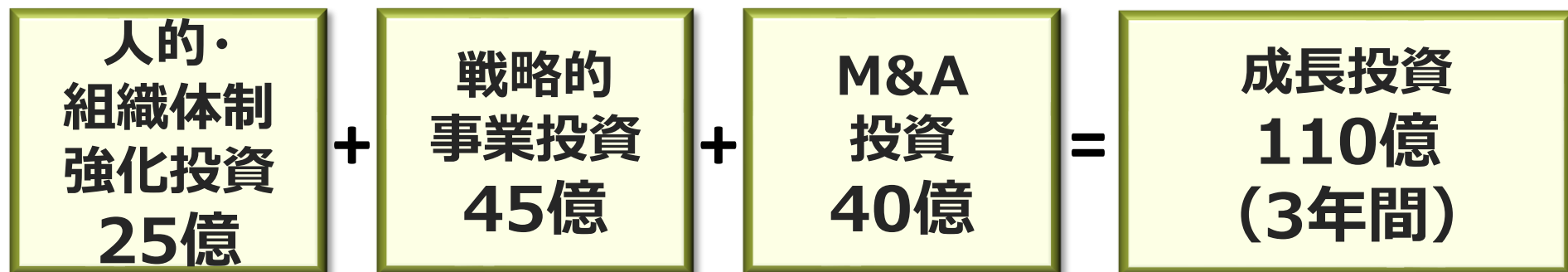


中期経営計画「持続成長プラン2025」の経営指標と成長投資

経営指標（2025年の目標値）

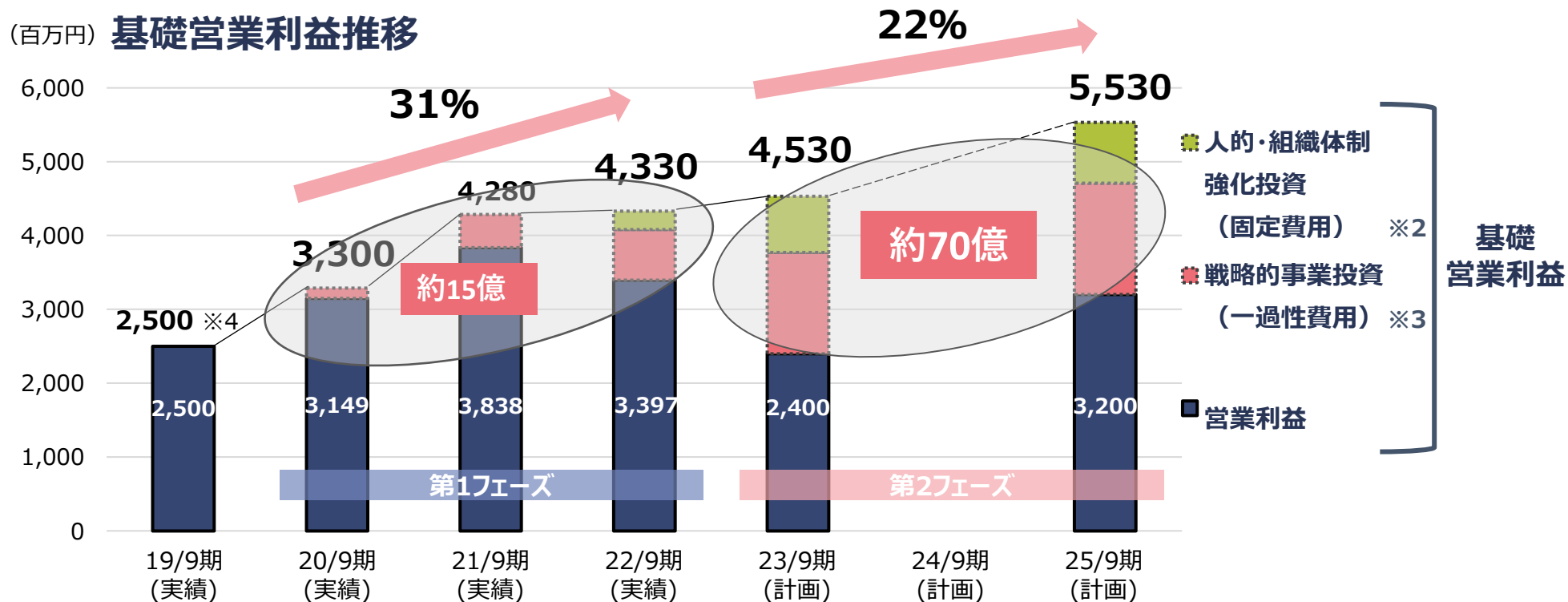


成長投資（2025年までの投資額）



中期経営計画「持続成長プラン2025」の成長投資

長期ビジョン2030の実現に向けて、先行投資を約5倍へ



- 長期経営ビジョン2030第1フェーズは、3ヶ年における売上高成長率CAGRが+9%、基礎営業利益ベースにおいても順調に増加
- 第2フェーズにおいては、基礎営業利益ベースでは増益基調を継続するものの、将来のさらなる事業拡大に向けた体制強化投資、戦略的事業投資の推進により、営業利益は一時的に減益となる

※1 2021年9月期以前の実績は、株式会社長大として公表した数値

※2 体制強化投資：持株会社体制強化、給与賃上げ、グループ全体のITインフラ強化等

※3 戦略的事業投資：研究開発費を含めた新事業投資等

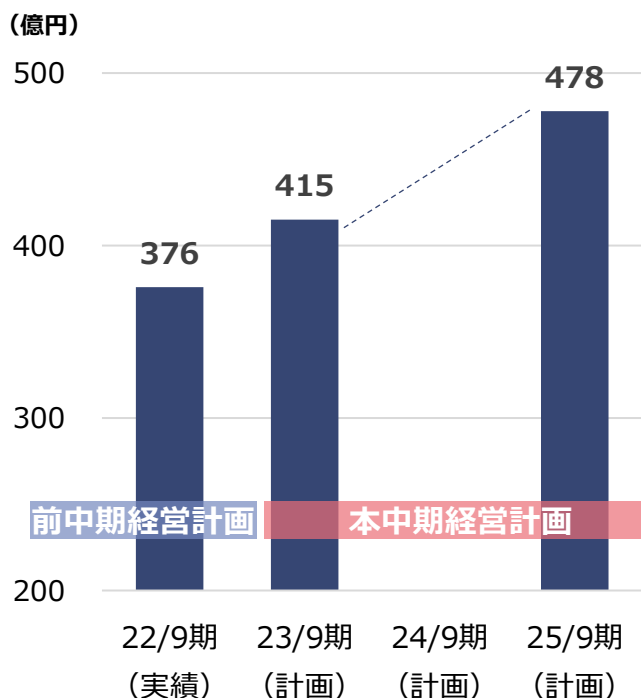
※4 保証金引き当て金4億円の影響を除く

中期経営計画「持続成長プラン2025」の経営指標と成長投資

主な指標と目標値～売上高・営業利益・社員数～

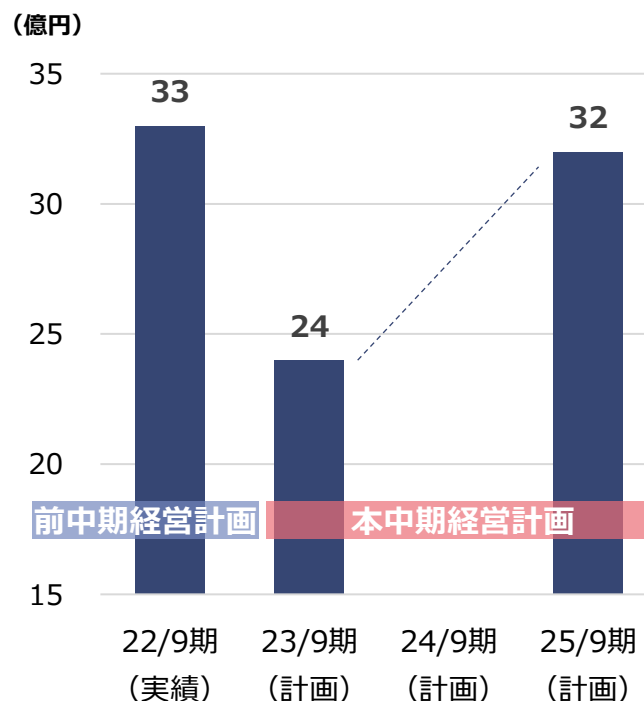
売上高

(前中期実績比+27%)



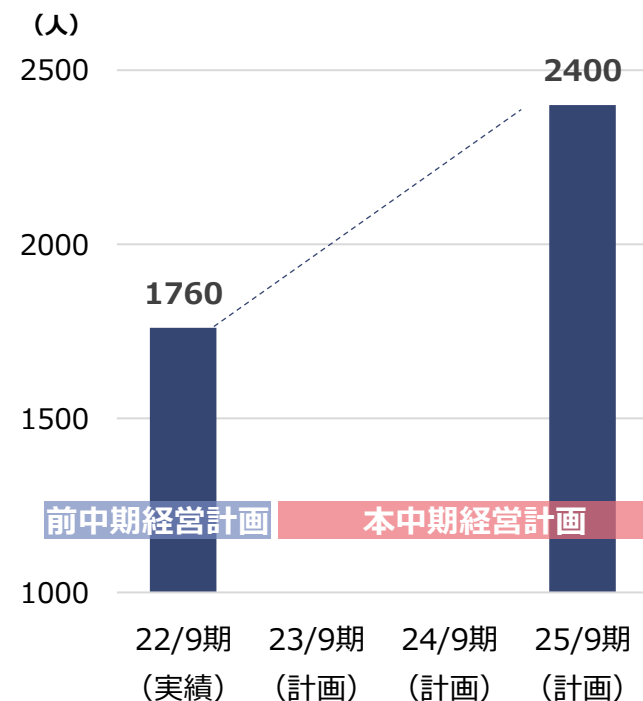
営業利益

(前中期実績比横ばい)



従業員数

(前中期実績比+36%)





1. ご挨拶

2. 人・夢・技術グループ中期経営計画「持続成長プラン2025」の進捗

3. 2023年9月期第2四半期決算ハイライト・業績予想

4. **2023年9月期上半期事業トピックス**

2023年9月期上半期 トピックス一覧

分野		トピックス
事業軸 I	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県と佐賀県を結ぶ有明早津江(はやつえ)川大橋が開通 [長大] 無電柱化に必要な電線共同溝設計を3次元化して高効率かつ高品質に [長大] 地下鉄有楽町線延伸事業の地盤調査を実施 [基礎地盤コンサルタンツ]
	災害復旧／防災・減災	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備計画に基づく調節池の整備に向けた検討を実施 [長大] 3Dモデルを活用した流域排水強化対策事業 [ピーシーレールウェイコンサルタント]
	IT化・DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁点検調書作成アプリで業務を効率化 [長大テック] 障害物の多い工場内に対応した自律走行システムを開発 [エフェクト] 橋梁維持管理におけるドローンの活用 [ピーシーレールウェイコンサルタント]
	新事業への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> 衛星を使った違法盛土の発見・監視 [基礎地盤コンサルタンツ] 「月面基地」建設のための技術開発に参画 [基礎地盤コンサルタンツ]
II	環境・新エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 新しい水浄化システムを導入した水循環の実証実験を開始 [長大]
III	まちづくり・地域創生	<ul style="list-style-type: none"> オンデマンド交通の普及に資する「AIオンデマンド交通研究会」を発足 [順風路]
海外連携展開領域		<ul style="list-style-type: none"> バングラデシュ国で鉄道複線化事業の準備調査 [長大] ごみ焼却発電でタイ国の産業廃棄物処理とエネルギー問題を解決 [長大] シンガポールごみ最終処分場の長寿命化に参画 [基礎地盤コンサルタンツ]

[事業軸 I] 基幹事業

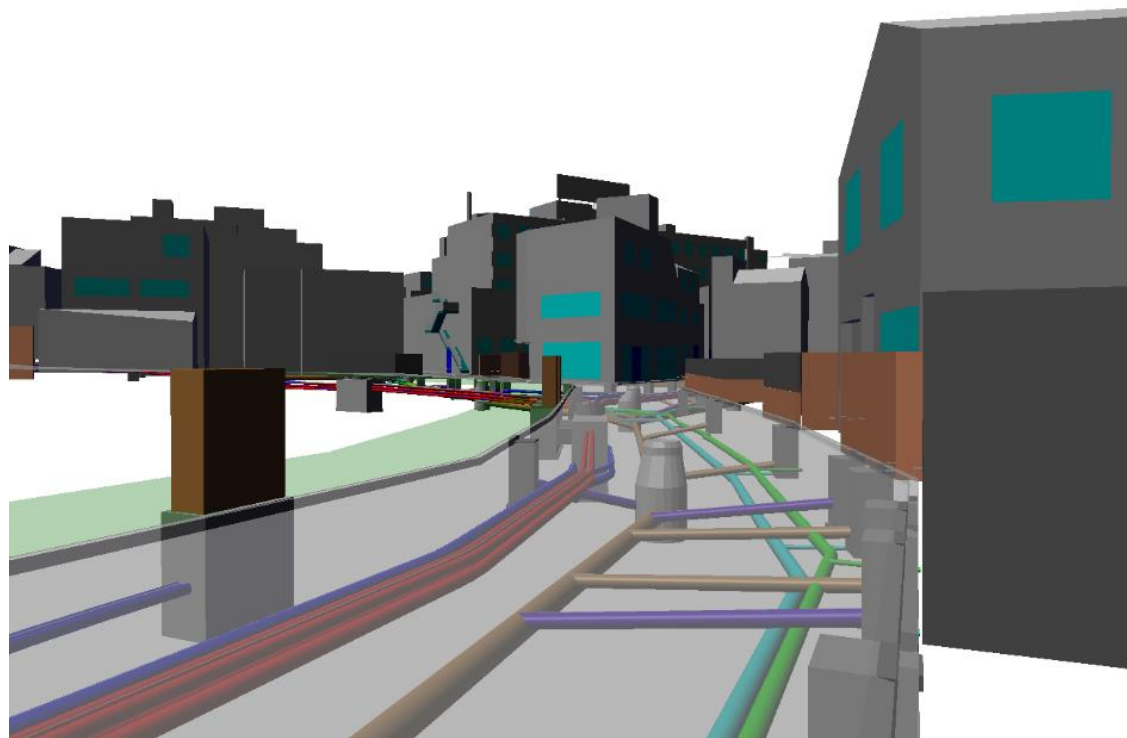
福岡県と佐賀県を結ぶ有明早津江(はやつえ)川大橋が開通 [長大]



- 長大が計画・設計に携わった福岡県と佐賀県の県境に架かる有明早津江川大橋が、2022年11月12日に開通。アーチ橋と桁橋を一体化させることで、桁の水平ラインを強調させるデザインを採用。
- これにより、佐賀県と福岡県が近くなったと住民から喜ばれている。

[事業軸 I] 基幹事業

無電柱化に必要な電線共同溝設計を3次元化して高効率かつ高品質に [長大]



図：3次元設計システムを用いた地上部と地下空間を統合した3次元モデリング成果

- 近年、頻発する自然災害を背景に「電線共同溝による無電柱化」が進められる。
- 電線共同溝設計は地中に埋設されているため2次元設計では可視化が困難。
- 長大が開発支援した「3次元設計システム」では3次元空間上での設計・検討ができ、図面の自動作図化により短時間で高品質な設計が可能となる。

[事業軸 I] 基幹事業

ダム再生事業の地質調査で高度な技術を提供 [基礎地盤コンサルタンツ]



- 近年、災害が激甚化する中、流域治水における「ダム再生」が注目され、全国でダム再生事業が進められる。
- 基礎地盤コンサルタンツでは全国のダム再生事業において地質調査を行う。岡山県の旭川ダムでは、長さ100mを超える「斜め」ボーリングにおいて、非常にもろい岩盤を採取するという高難度の地質調査に成功し、高い技術力を示す。

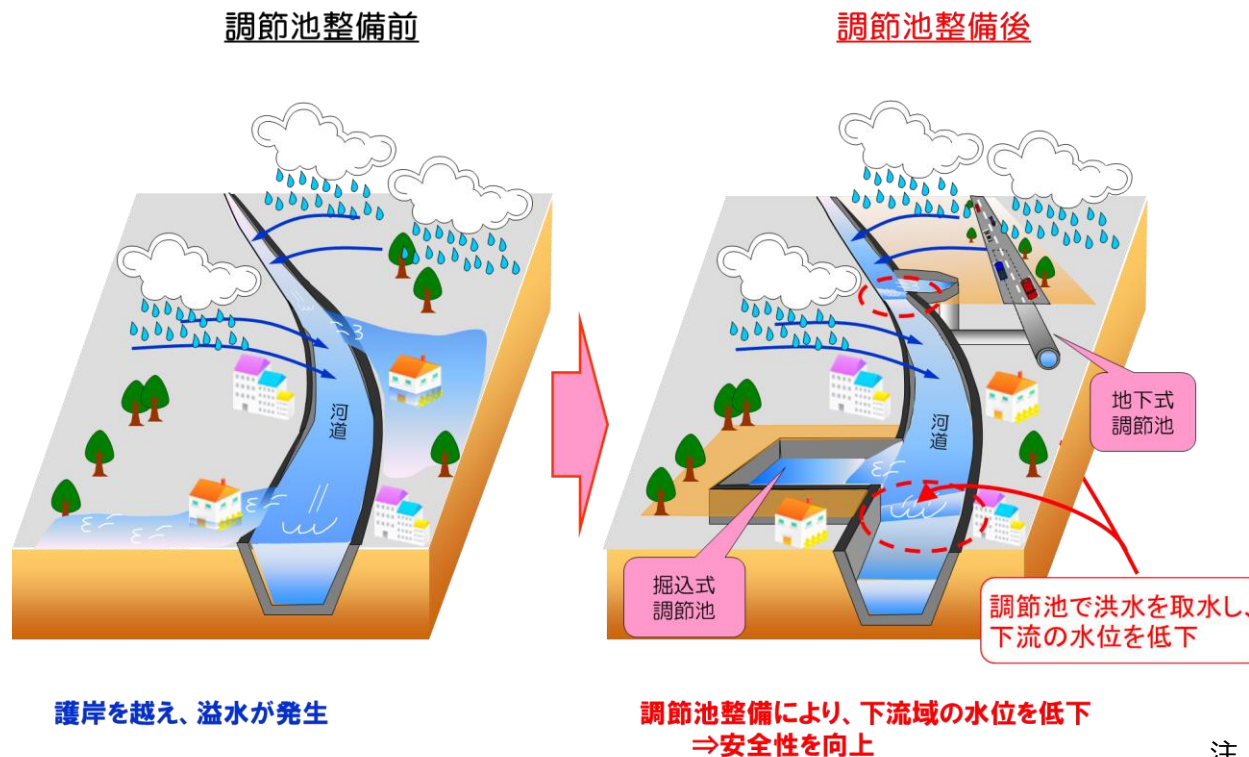
[事業軸 I] 基幹事業

地下鉄有楽町線延伸事業の地盤調査を実施 [基礎地盤コンサルタンツ]



- 豊洲～住吉間を結ぶ東京メトロ有楽町線延伸事業で、基礎地盤コンサルタンツ(本社：江東区)は地域に根差した建設コンサルタントとして地盤調査に携わり、地盤に関わる課題や技術面のコンサルティングを行う。
- 都心部から千葉方面まで広範囲の利便性・安全性の向上が期待される。

河川整備計画に基づく調節池の整備に向けた検討を実施 [長大]



注：東京都建設局HPより引用

- 東京都は目標整備水準である年超過確率1/20規模の降雨(おおむね20年に1度発生する降雨)に対応するため、河道整備、新規調節池の整備を実施。
- 長大では、対象河川の早期の治水安全度の向上のため、新規調節池の整備に向けた施設配置や構造等の検討を行う。

[事業軸 I] 災害復旧／防災・減災

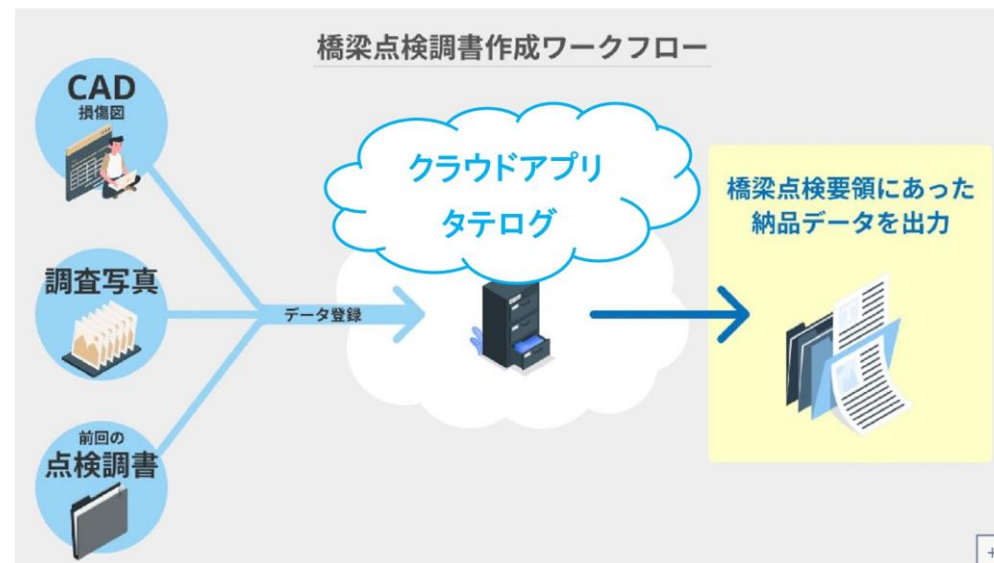
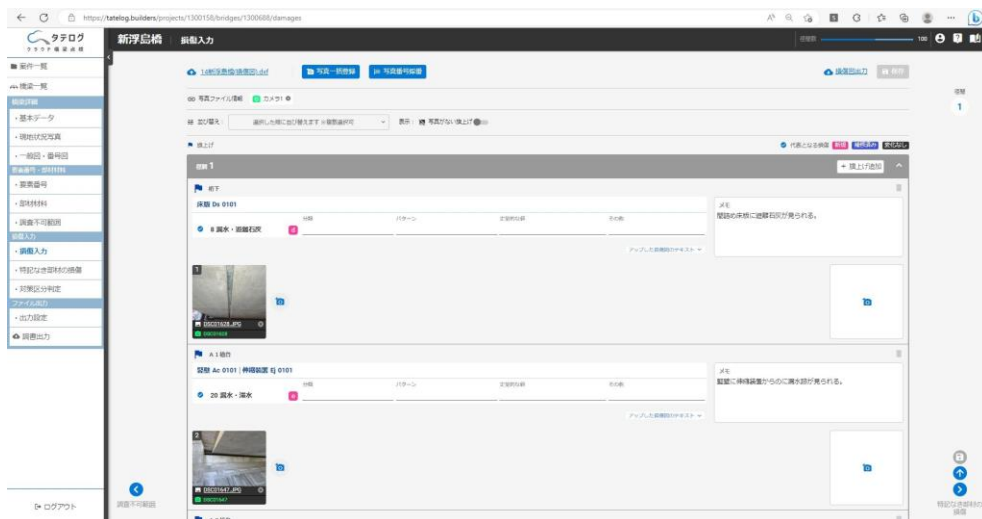
3Dモデルを活用した流域排水強化対策事業 [ピーシーレールウェイコンサルタント]



- 平成27年関東・東北豪雨、令和元年10月東日本台風で大規模な浸水被害が発生した栃木県小山市で、地元企業であるピーシーレールウェイコンサルタントは、流域排水機能の強化を目的とした排水路や調節池の整備や、橋梁や道路など広範囲にわたる設計業務を進める。
- 設計内容を3Dモデル化することで、地域の方に分かりやすい住民説明会を実施予定。

[事業軸 I] IT化・DXの推進

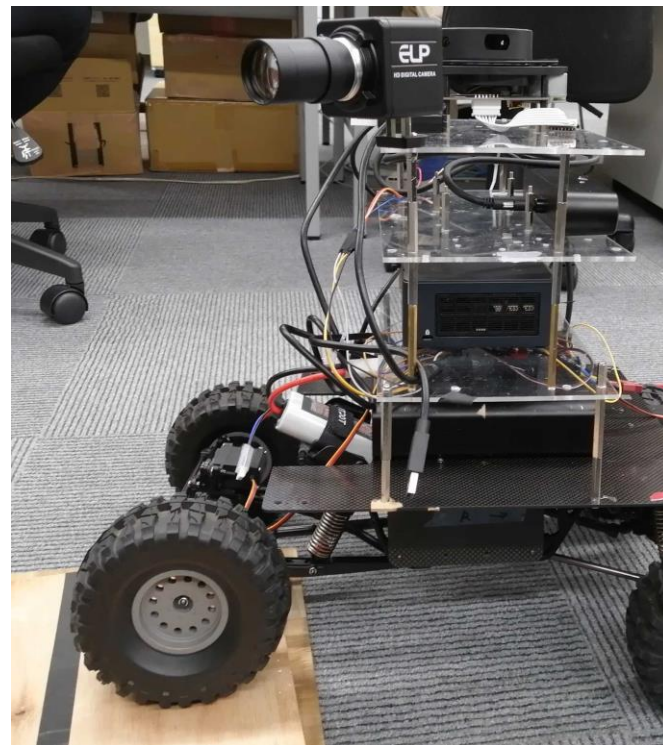
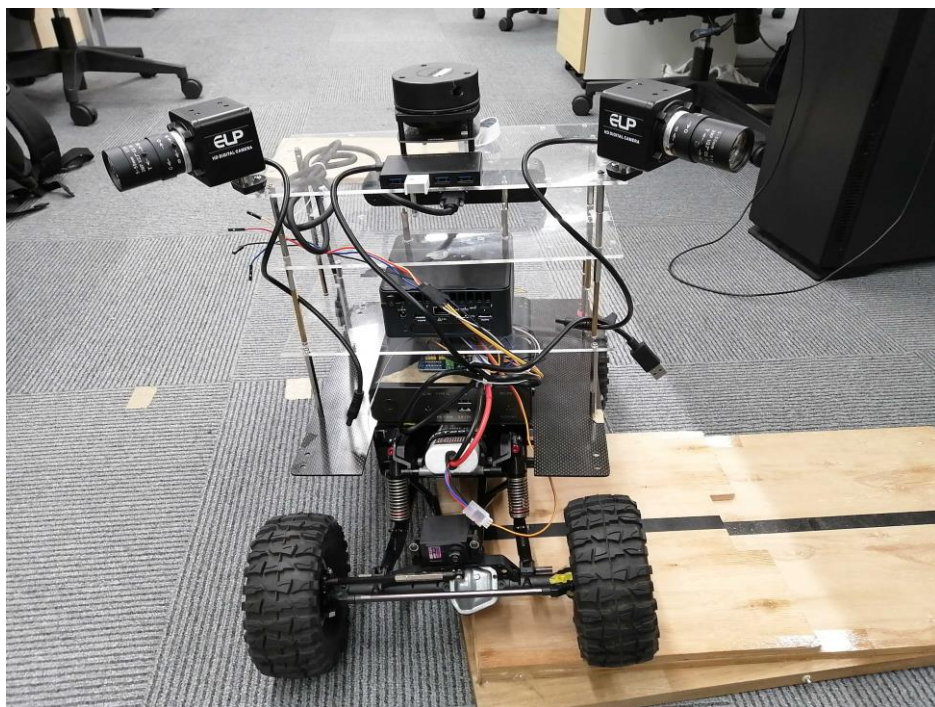
橋梁点検調査書作成アプリで業務を効率化 [長大テック]



- 長大テックでは、“橋梁点検調査書の作成は煩雑で作業量も多い”という課題を解決するアプリケーション「タテログ」を活用し、効率化を図る。
- 開発者に改善点を指摘するなど、より使いやすいソフトになるよう進めている。

[事業軸 I] IT化・DXの推進

障害物の多い工場内に対応した自律走行システムを開発 [エフェクト]



- エフェクトは、障害物の多い工場内でも安定的に走行可能な新開発のAGV(無人搬送車)に、LiDAR*・ステレオカメラ・慣性センサーを活用した自律走行システムを搭載した自律巡回型点検システムを開発。
- 障害物を乗り越えても安定して自律走行ができるため、インフラ点検への活用も期待される。

*Light Detection And Rangingの略。レーザー光を照射して、その反射光の情報をもとに対象物までの距離や対象物の形などを計測する技術。

[事業軸 I] IT化・DXの推進

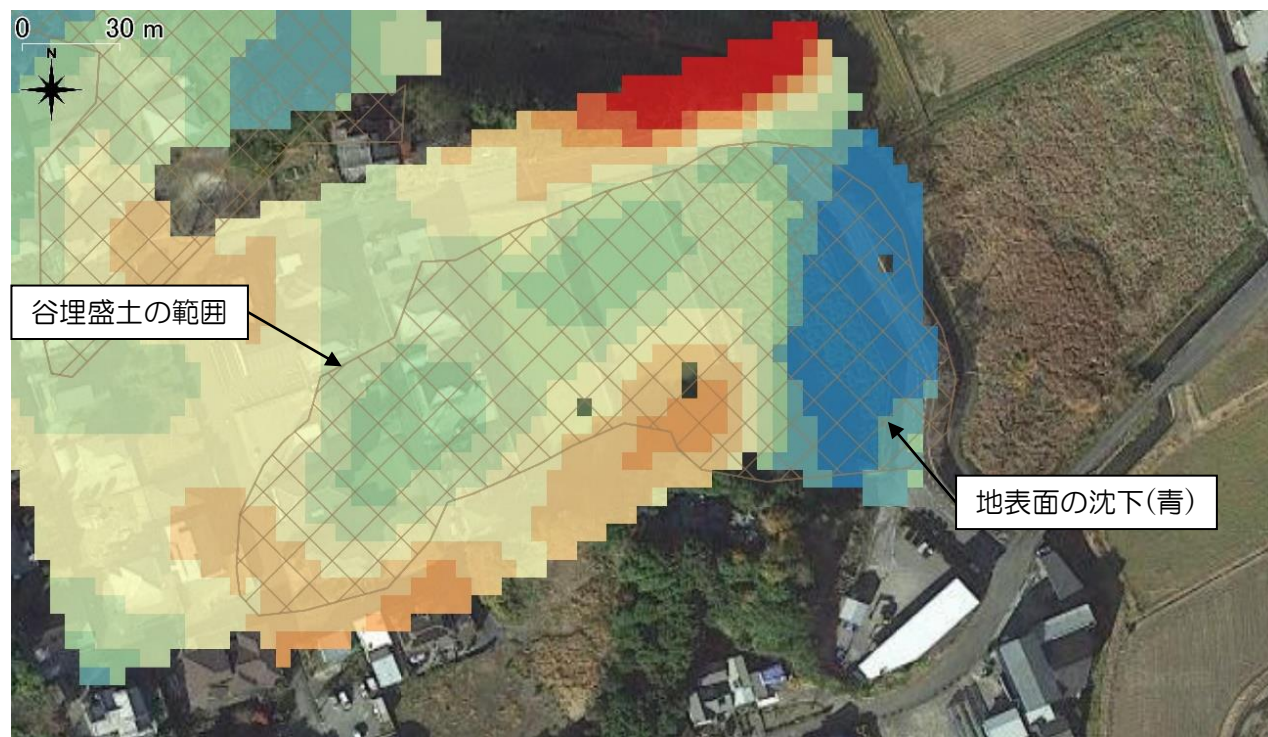
橋梁維持管理におけるドローンの活用 [ピーシーレールウェイコンサルタント]



- 近年、老朽化が進み、長寿命化が課題となる橋梁に対し、ピーシーレールウェイコンサルタントでは、損傷した橋梁を調査し、最適な修繕工法を提案する補修設計業務を行う。
- 最近では調査へのドローンの活用や撮影データの3次元化を行うことで、作業効率や精度の向上につながっている。

[事業軸 I] 新事業への挑戦

衛星を使った違法盛土の発見・監視 [基礎地盤コンサルタンツ]

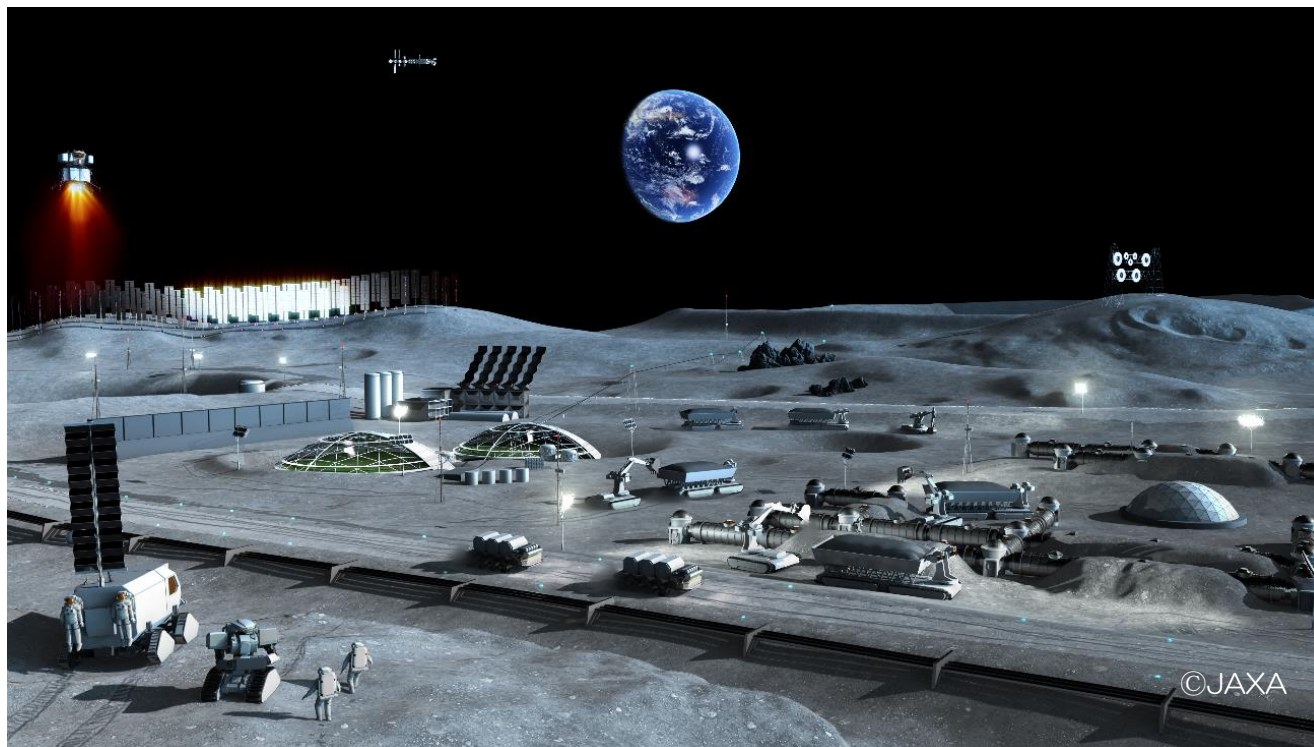


- 2023年5月の法改正により、違法な盛土等は全国共有の基準で規制。
- 基礎地盤コンサルタンツでは、衛星SAR*を用いたリモートセンシング技術を活用し、時期の異なる衛星画像を比較することで、盛土など地形の改変を抽出し、盛土等の拡大を監視する。

*Synthetic Aperture Raderの略。合成開口レーダーの意味で、人工衛星を利用した地上観測技術(リモートセンシング)のひとつ。

[事業軸 I] 新事業への挑戦

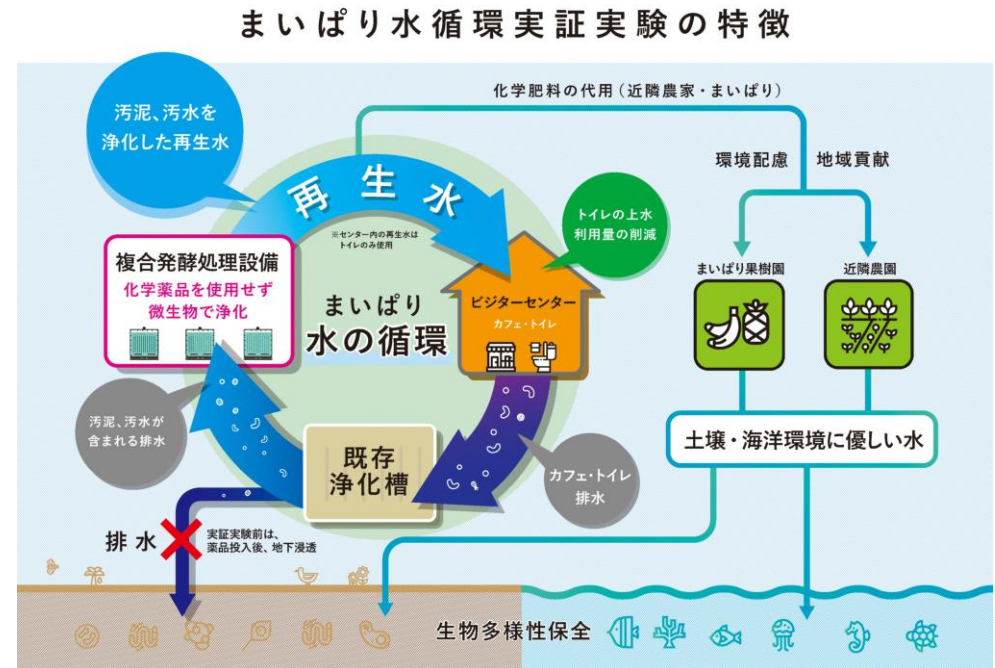
「月面基地」建設のための技術開発に参画 [基礎地盤コンサルタンツ]



- 2022年6月、国土交通省および文部科学省による「宇宙無人建設革新技术開発推進事業」の技術研究開発の実施対象に、基礎地盤コンサルタンツが参加するプロジェクトが採択。多彩な分野の先端技術を融合して、月面測量と地質調査を同時に行い、3次元地質調査地盤図を作成する無人調査システムの開発を行う。
- 今期は、月面地盤を模した材料を用いて、土質試験を行いプロジェクトを進める。

[事業軸Ⅱ] 環境・新エネルギー

新しい水浄化システムを導入した水循環の実証実験を開始 [長大]



- 長大と東急、東建産業は、「複合発酵技術」による水浄化システムを導入した水循環の実証実験を2023年2月から沖縄県宮古島市で開始。
- これは浄化した排水を繰り返し利用するほか、その水を農業用液肥としても利用できるシステムであり、今後は東急、東建産業と協働し、水資源循環プラットフォームの構築に取り組む。

[事業軸Ⅲ] まちづくり・地域創生

オンデマンド交通の普及に資する「AIオンデマンド交通研究会」を発足 [順風路]



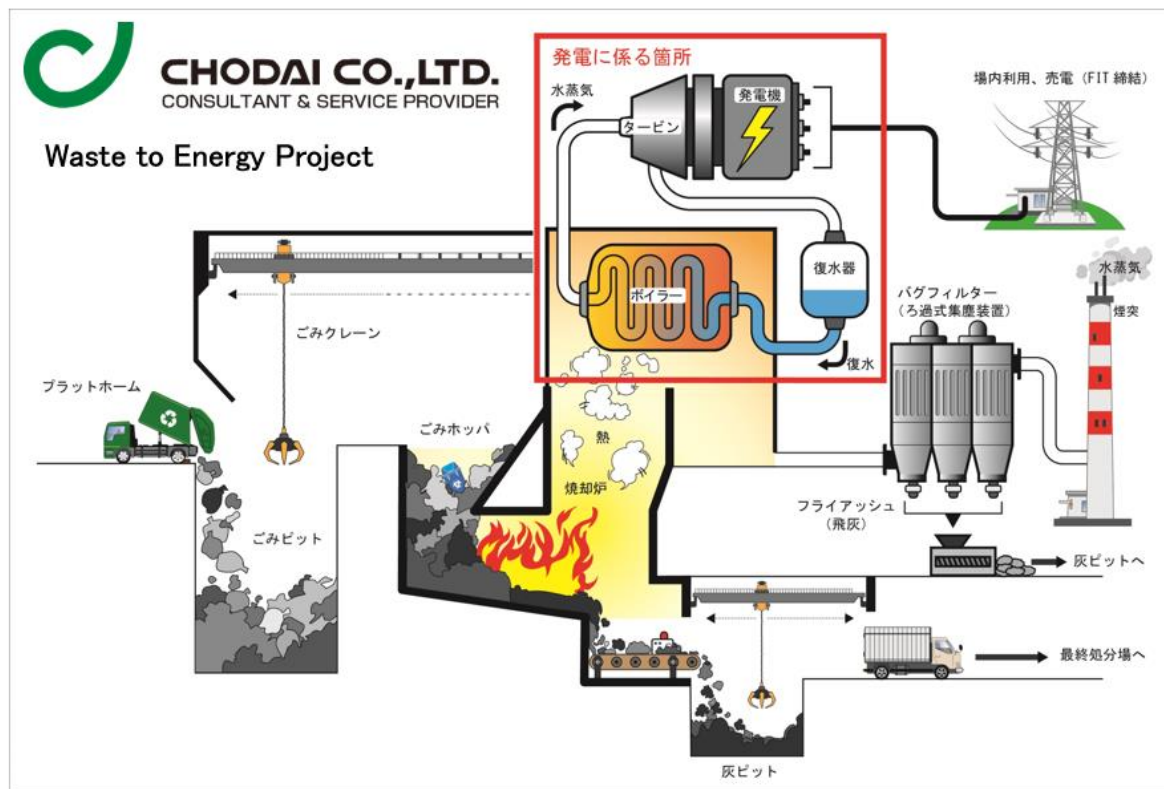
- 順風路を含む、国内外でオンデマンド交通を展開している交通サービス提供会社及びアルゴリズム提供会社10社は、2023年2月「AIオンデマンド交通研究会」を発足。AIオンデマンド交通の認知度向上を図り、社会実装を促進し、地域交通課題の解決に貢献することを目的とする。
- 順風路は、多数のオンデマンド交通導入・運用実績をもとに、更なる地域創生策を進める。

バングラデシュ国で鉄道複線化事業の準備調査 [長大]



- バングラデシュ人民共和国の首都ダッカとインド国境を結ぶ単線鉄道では、主要線路を複線化し、輸送能力を強化する事業が計画。
- 長大はJICA(独立行政法人国際協力機構)から準備調査を受託。物流が活発化することで、国内および周辺国との連結性が向上し、地域経済の発展が見込まれる。

ごみ焼却発電でタイ国の産業廃棄物処理とエネルギー問題を解決 [長大]



- 長大は多様なサービスを社会に提供するサービスプロバイダとして、再生可能エネルギー事業の参画を推進しており、2022年12月には、タイ国のごみ焼却発電を受注。
- ごみ焼却発電は、廃棄物処理の問題とエネルギー問題を同時に解決する手段として注目。日本の高い技術力を持って現地パートナーと協働し、タイ国の再生可能エネルギー事業を推進。

シンガポールごみ最終処分場の長寿命化に参画 [基礎地盤コンサルタンツ]



- 基礎地盤コンサルタンツでは、シンガポール環境省の共同研究に南洋工科大学と参画し、セマカウ島にあるシンガポール唯一のごみ最終処分場の長寿命化に取り組む。
- 汚染物質の含有量や分布を調査し廃棄物の再利用方法を検討するため、123本のボーリング調査を行い、処分場内の廃棄物試料の採取を行う。

ディスクレームー

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません
- 本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください
- 本資料の著作権は当社が保有しており、無断転載は禁止いたします

お問い合わせ先：人・夢・技術グループ株式会社 経営戦略センター 経営企画部

電話：03-3639-3317 FAX：03-6634-6430

Mail：ir@pdt-g.co.jp



**2023年9月期 第2四半期決算説明会
ご清聴どうもありがとうございました。**